

## 香害 市民の理解を進める周知啓発を

◆**香害**秋本 柔軟剤や消臭剤等の人工香料による化学物質過敏症、香害は新たな健康被害として社会的な課題となってきた。他人の香りで被害を受ける点で受動喫煙と同様だが、香害の認識はまだ浅く実態を知られていない。外出時や来客等の香害に苦しむ市民の声も聞いている。都や他市のように、市でもポスターやHP等で理解配慮の周知啓発を求める。☑️環境部と消費者センター担当とで調整し研究を進める。消費者啓発の観点で周囲への配慮等を含め適切な情報提供を考える。秋本健康増進計画実施計画に掲げた情報取得の環境づくりとして、健康推進課での啓発も必要。大人より化学物質の影響をう

けやすい子どもへの対策として学校等での周知も重要。☑️研究に努め庁内連携を図り対応を考える。市の取組み方針決定後は学校への周知啓発も可能。秋本庁内連携で啓発を進めるべきだ。◆**市民活動センター**秋本 cocobunjiに新たな市民活動センターが整備される。地域活性化や市民活動の核機能として期待も大きい。市民利用者の意見を反映した施設整備を進め、この機会に協働事業の強化に取り組むべき。☑️団体への細やかな支援を行う。秋本地域の担い手不足が言われる。地域課題の解決には協働事業の団体等担い手の育成も必要だ。市民活動や協働事業を見据え、市民交流を促す仕掛けづくりを求める。

国分寺・生活者ネットワーク  
秋本 あすか



☑️場を活かし新たな市民も呼び込み交流を促進させたい。◆**都市農業**秋本 都市農業円滑化法と特定生産緑地制度は、共に生産緑地ベースの都市農業のあり方に大きく関わる制度だ。農地保全に向け庁内連携で農業者に寄り添った対応を。☑️情報共有・連携を図る。秋本農地保全や地産地消の良さが市民に広がり、安心安全な地場野菜を進んで買うことで、環境や人に優しい環境保全型農業も進むと考える。都市農業の価値を農業者も消費者も共有できる取組みを求める。☑️エコ農産物認定制度等、継続して取り組む。

## 新庁舎建設・場所、住民投票を行うべきだ！

甲斐) スケジュールにあるよう3月に基本構想の(案)がとれ基本構想として決定されたら市の方針が決まるとは庁舎の位置が決まることか？  
行革担当部長) 予定より前倒して2月半ばに構想を決定しますと市の考え方がはっきりしますので、行政サイドとしての考え方を示したい。  
甲斐) だから、それは市長が庁議で庁舎の所在地を戸倉か泉町に決定するのか？  
行革担当部長) 構想が出来て判断基準が出来ますので判断し、表明すると。ただ構想決定イコールすぐ市長が表明するとは答弁していない。  
甲斐) 10月27日の公共施設委員会にても構想が前倒決定され、場所が決定・表明されるとの説

明は無い。3、4ヶ月後の重大な決定なのに。  
行革担当部長) 委員会説明はしていない。庁内最終的な判断のタイミングを調整している。  
甲斐) 拙速な進め方だ！構想を元にあらゆる市民参加で侃々諤々の議論でメリット、デメリット比べて合意をはかるべきだ。世田谷区では進め方から場所もゼロベースから市民を交え10年近くの歳月をかけて、まとめている。国分寺市役所行政には響かないだろうが。それなら、自治基本条例11条の住民投票を行え。  
行革担当部長) 自治法4条、議会の3分の2の議決を十分に重く考え、位置を移転する場合にはこちらの方で結論をいただきたい。

無会派(無所属)  
甲斐 よしと



3月の第1回定例会に上程するとは現在はっきり決まっているわけではない。庁内調整中です。  
甲斐) 市民にどの場所か何人の声を聞いたのか。  
行革担当部長) 100人強です。  
甲斐) 少な過ぎ。コンサルの構想案に市民参加必要。自治基本条例に従い住民投票をするべき。  
副市長) 市民に構想を配り、パブリックコメントを受け、私共だけでは判断できない。議員提案の住民投票も考えなければならぬかもだ。  
他に高齢者福祉・24時間巡回介護や一種住専の最低敷地限度を質疑しました。

## 教室不足、待機児童、中学校の服装規定など

### 1. 四小の教室不足について

- (1) 図書室がビオトープに移るが広さはどうなるのか？→普通教室2+廊下⇒現在148.5㎡⇒143㎡になる。今ある本はすべては移せない。
- (2) 工期の関係でH32年の1学期は図書室がなくなるがどうするのか？→どこかに本を仮移転させて図書室の時間はそこから本を普通教室にもって来ることになるかもしれない。
- (3) 去年の9月にパソコン教室がなくなってから5・6年生はパソコンの授業が一切ないと聞いているがどうなっているのか？→パソコンの利用が可能な環境なので使うように話をする。
- (4) 保護者会で図書室とパソコンの授業の件につ

いてよく説明し意見も聞いていただきたい。

### 2. 待機児童について

- (1) 小平の認定子ども園を視察した。3歳からの連携園になるので検討してはいかがか？→現在予定はない。幼稚園の活用が重要だ。
- (2) 待機児童のうち育休中102名の分析はしたか？→来年度の申し込みについて聞きとりする。
- (3) 市外の保育園に預けていても市内に入りたい人もいますので寄りそって相談にのってほしい。
- (4) 子ども子育て会議は今年3回あったが1回しか市報にのっていない。すべてのせてほしい。

### 3. 中学校の服装規定について

生徒や保護者の意見を聞いてほしい→どんな意

国分寺政策市民フォーラム  
及川 妙子



見でもしっかり受けとめるのが基本姿勢だ。  
4. 一般廃棄物処理基本計画(案)について  
10年間の計画は長すぎる。ごみの減量は重要だが、今問題になっているプラスチックごみの減量などにシフトしてはいかがか？  
5. 庁舎建設について  
基本構想のまとめと今後の進め方で「泉町都有地が有力である」と書いてあるのは問題ではないか？→表現については再考する。現庁舎での建てかえで100~111億、泉町都有地で138億円かかる。補助金の活用をお願いする。

## 認可保育所・公立学童保育所の増設を

### 《認可保育所の待機児童ゼロをめざして》

10月1日時点での待機児童数は速報値で305名(4月時点は202名)。昨年10月の待機児童は151名。第一次時点での申込数は昨年より103名の増加。

問) 来年4月に向けて今年度は339名の定員を増やしたが、待機児童数は今年と同程度になってしまうのでは。

答) 一気に減るとは考えづらい。

\* 待機児童解消のためには認可保育所を増設するペースを上げる必要がある。

### 《学童保育所の早急な増設を》

現状、民間学童を増設した学校区でも学童保育

所の狭あい状況が解消していない。小学校6年生までの受入れのめどもたっていない。

問) 民間学童の誘致を基本としてきた結果が現在の状況になってしまっている。民間だけでなく、公立も含めて増設すべき。

答) 今後も民間学童の整備を進めていきたい。  
\* 民間任せでなく、市として責任をもって増設に取り組むべき。学校周辺の空家などの活用も含めて、公立学童の増設の検討を。

### 《小・中学校体育館にエアコンを》

学校体育館へのエアコン設置について「熱中症対策や避難所としての機能強化の面から必要性は感じている」と答弁があった。

無会派(日本共産党国分寺市議団)  
中山 こう



問) 東京都の補助は2021年までの時限措置。必要性を感じるならその間に設置を。

答) 設置するか否かも含めて検討する。

\* 国や都に補助期間の延長などを求めながら設置に向けた検討を

### 《一部取得した戸倉公園用地の早期開放を》

東京都の担当課長は取得した土地の一部であっても公園の事業認可をしている。都に確認の上早急な整備を求める。

\* 他に、性的マイノリティの差別解消、同性パートナーシップ制度創設を求めた。